

大津赤十字病院様のケース



薬剤部
米川 恭史先生



MRが院内のどこで何をしたのか、履歴として残せることが最大のメリットです。

名刺より効率的

MONITAROを導入し、薬剤部から離れた棟にいる時でもPCから簡単に担当者情報を確認できるようになりました。MR が担当交代する際にはMONITAROへの登録が前任から伝達されているため、担当者情報が正確に反映されています。**MONITAROに登録したMRにのみ院内活動用の入館許可証を発行しています。**

活動状況が分かる

MRは病院訪問時に MONITAROで情報を入力しているため、PCを開くだけで「訪問目的」と「訪問先」が分かるのが最大のメリットです。以前は活動状況を報告するためだけに薬剤部を訪問されるMRもいましたが、今では MONITAROでの入力となり、過度な訪問を抑制する効果もあります。**MRの訪問記録は印刷して管理しており、訪問管理業務の負担軽減につながっています。**

病院独自の運用例

当院ではMONITAROのアポイントとメッセージは敢えて受付OFFの設定にしています。MR活動を把握したいが、MRからの連絡が増えると困るという場合はこの使い方もバランスが良いです。電話の頻度がそれほど多くないため実現できていると思います。